

キャッチフレーズ ライフラインの供給と、社会と暮らしの快適に貢献する。

I. 経営理念(企業ビジョン)

ライフラインの供給と活用に貢献し、産業の繁栄支援者となり、社会に安心と快適を届け、人々が望む暮らしを実現する。

II-1. 企業概要

代表者 秋田敬 所在地 小山町藤曲66-3 資本金2,300万円 従業員18人
登録業種 一般建設業(電気・管・水道) 事業内容 発電所変電所工事・一般電気・給排水・浄化槽・空調・電話、TV等弱電・消防設備・冷蔵冷凍設備・厨房・家電販売など

II-2沿革

昭和26年(沼津市)中外電気(株)小山出張所
昭和27年 中外電気工業所 創業(秋田恒信)
昭和35年 東京電力 発電所変電所工事開始
昭和36年 会社設立

II-3. 受賞歴・認証・資格等

【受賞】小山町技能功労賞・電力会社緊急応動表彰
【資格】電気工事士・電気工事施工管理技士・管工事施工管理技士・土木工事施工管理技士・給水装置工事主任技術者・下水道排水設備工事責任技術者・浄化槽設備士・アナログデジタル工事担任者・消防設備士

III-1. 内部環境(業務の流れ)

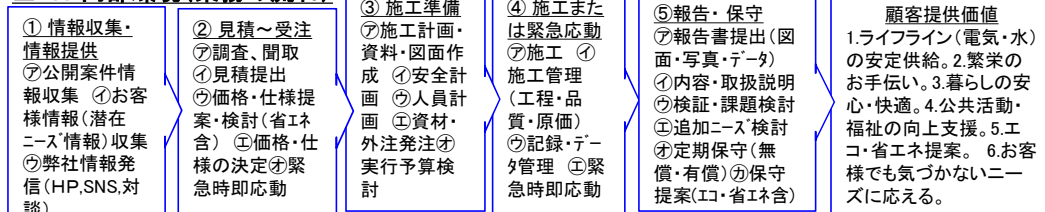


Table with 2 columns: 業務の流れ (Business Flow) and 他社との差別化に繋がっている取組 (Initiatives for differentiation from competitors).

III-2. 内部環境(強み・弱み)

【自社の強み】

- ベテラン技術者が多い。
発電所・変電所工事・保守の特殊な技術がある。
取捨する業務が多い。
既存顧客が多分野・多方面に渡っている。
経営者後継候補がいる。
【環境面】
電力会社から直接受注業者(競争相手)が少ない。
潜在顧客が無限。(全ての人・組織団体が顧客対象)
団体所属、役職経験が多く、認知度が高い。
県境の利。静岡・神奈川・山梨が「地元」となり得る。

【その理由・背景】

- 中途採用社員を含め、従業員定着率が高い。
明治期小山町に富士紡績立地、電力事業を展開、戦後東京電力に統合、東電の重要事業所を持つ町に当社が創業した。
人との縁に積極的に対応する意識・社風が常にあった。
人・企業と交わり、生まれる縁を大切にしてきた。

【自社の弱み】(経営課題)

- 若年層社員が少なく世代継続性が遅れている。
社員育成の仕組みが確立していない。
個人能力に頼る所が大、組織としての統制力が弱い。
一貫した企業イメージやブランドアピールに欠ける。
営業力・提案力が弱く、営業組織や仕組みがない。
電力会社の発注形態や価格に大きく影響を受ける。
専門業者に比べ劣る分野がある。
多分野の技術者や人材が不足している。
通年の受注安定期間に欠ける。(受注量の波が大きい)
【環境面】①当事業内容がイメージされにくい。
②都市部への勤務希望が多く希望地に選ばれにくい。

【その理由・背景】

- 「志望者はいないだろう」という先入観があった。
目前の施工に追われ、採用・教育の計画が後回しになり、人事労務・教育の改革が遅れていた。
長年「頼まれたことを工事する」形であり、営業部門がなく、提案・発信があまり行われてこなかった。
当社のイメージが見え難いことが分かってきた。
電力会社のコストダウン方針が急激に強まっている。

IV. 外部環境(機会と脅威)

Table with 2 columns: 機会 (Opportunities) and 脅威 (Threats), listing various market and operational factors.

V. 今後のビジョン(方針・戦略)

Table with 2 columns: 外部環境と知的資産を踏まえた今後のビジョン (Future vision based on external environment and intellectual assets) and 今後のビジョンを実現するための取組 (Initiatives for realizing the future vision).

VI. 価値創造のストーリー

Value Creation Story section containing: 【過去～現在のストーリー】(2000～2018年)知的資産の活用状況, 【現在～将来のストーリー】(2019～2023年)知的資産の活用目標, and KGI (Key Goal Indicator) section.